

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ソフィアホールディングス
 コード番号 6942 URL <http://www.sophia.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 裕樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 柴山 孝輔
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

TEL 03-5365-1035

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	3,017	—	△416	—	△485	—	△768	—
20年3月期第3四半期	3,933	—	219	—	209	—	185	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△37.29	—
20年3月期第3四半期	8.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
21年3月期第3四半期	4,300	—	2,257	50.7	105.80	
20年3月期	5,419	—	3,138	57.1	150.07	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 2,180百万円 20年3月期 3,092百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

(注1) 平成20年6月30日を臨時決算日・平成20年7月31日を基準日として、1株当たり、5円の配当を行いました。

(注2) 平成20年11月14日「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」におきましては、剰余金の配当5円を加算し、年間8円の配当を予想しておりましたが、この度、平成21年3月期末に予定しておりました3円の配当金を0円とし、年間5円の配当とさせていただきます。詳細は、「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	4,400	△22.8	△300	—	△330	—	△650	—	△31.41

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	20,693,000株	20年3月期	20,693,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	87,393株	20年3月期	85,293株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	20,606,935株	20年3月期第3四半期	20,609,342株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

・当連結会計年度より「四半期連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

平成20年7月31日を基準日とする1株当たり配当金

基準日	平成20年7月31日
1株当たり配当金	<p style="text-align: center;">円 銭</p> <p style="text-align: center;">5 00</p>

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱等で世界的な経済が一段と減速する中、設備投資の減退、雇用情勢の悪化など景気後退が継続しております。

このような事業環境のなか、当社グループとしましては、組込み機器向けの開発ソリューション提供を中心とした株式会社ソフィアシステムズとインターネット関連事業を中心としたソフィア総合研究所株式会社、情報システム関連事業を中心とした株式会社ソフィアモバイルの3社により各事業ドメインでの業容拡大を目指して積極的な活動を行いました。

近年、IT業界は、景気後退の影響を受け、市場規模の成長率減少、IT支出の減退等が顕著に表れ、低迷が続いております。しかしながら、当社グループはかねてより、ITシステムの仮想化技術に注目し、すでに技術開発に着手しており、現在、仮想化技術が浸透し始めている状況を事業促進、将来的な利益拡大の機会と捉えて、グループ4社の力を結集し、注力する所存であります。

事業の種類別セグメントの営業概況は次のとおりであります。

[デザインオートメーション事業]

子会社である株式会社ソフィアシステムズでは、携帯端末機器開発メーカーなどの重点目標分野・顧客を設定して拡販活動を行い、半導体メーカーや組込み機器用オペレーティングシステムのメーカーなどと緊密な協業体制を取り新製品の拡販及びソリューションサービスの提供を推進し、売上高は257百万円になりました。

[情報システム事業]

子会社である株式会社ソフィアモバイルでは次世代型電子POP端末（nanica7）の販売を展開し、売上高は22百万円となりました。今後は、次世代型電子POP端末シリーズを増やし、売上を拡大していく予定であります。

[インターネット関連事業]

子会社のソフィア総合研究所株式会社では、インターネット関連事業・ECサイト構築関連事業を行っており、売上高は615百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間の業績としましては、売上高が885百万円となりました。損益面におきましては、営業損失237百万円、経常損失258百万円、四半期純損失543百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は前連結会計年度末に比べ1,119百万円減少し、4,300百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金の減少額523百万円等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ238百万円減少し、2,043百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少額572百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ880百万円減少し、2,257百万円となり、自己資本比率は50.7%となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において営業活動の結果使用した資金は315百万円となりました。これは、税金等調整前当期純損失389百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は0百万円となりました。投資有価証券の売却による収入64百万円及び投資有価証券の取得による支出64百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において財務活動の結果獲得した資金は272百万円となりました。これは、長期借入金300百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期の業績を踏まえ、平成20年11月14日に公表いたしました「平成21年3月期 第2四半期決算短信」の平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)業績予想を修正いたしました。詳細は平成21年2月13日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出方法に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価の切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の定率法に基づく減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7

月5日)が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法)により算定しております。

これによる損益に与える影響はありません。

③リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これにより損益に与える影響は軽微であります。

なお、リース取引開始日が会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引について引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,115,390	1,839,134
受取手形及び売掛金	1,204,760	1,727,772
有価証券	4,076	60,833
商品	86,663	99,048
製品	61,774	93,975
原材料	60,355	25,014
仕掛品	154,638	53,042
貯蔵品	4,528	6,916
その他	195,623	178,432
貸倒引当金	△65,094	△28,216
流動資産合計	2,822,716	4,055,953
固定資産		
有形固定資産	817,458	761,763
無形固定資産	72,496	24,026
投資その他の資産		
投資有価証券	470,502	412,968
その他	168,605	192,235
貸倒引当金	△51,435	△27,510
投資その他の資産合計	587,673	577,693
固定資産合計	1,477,628	1,363,484
資産合計	4,300,345	5,419,437
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	498,003	1,070,658
短期借入金	237,500	100,000
1年内償還予定の社債	208,000	196,000
未払法人税等	2,463	71,901
引当金	29,000	56,000
その他	350,117	206,122
流動負債合計	1,325,084	1,700,682
固定負債		
社債	270,000	400,000
長期借入金	200,000	—
退職給付引当金	184,948	178,093
引当金	—	2,600
その他	63,246	—
固定負債合計	718,195	580,693
負債合計	2,043,279	2,281,376

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	250,397	804,706
利益剰余金	△106,578	210,500
自己株式	△19,577	△19,277
株主資本合計	2,232,242	3,103,928
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△52,132	△11,341
評価・換算差額等合計	△52,132	△11,341
新株予約権	76,956	45,474
純資産合計	2,257,065	3,138,061
負債純資産合計	4,300,345	5,419,437

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	3,017,051
売上原価	2,196,263
売上総利益	820,788
販売費及び一般管理費	1,237,533
営業損失(△)	△416,744
営業外収益	
受取利息	1,702
受取配当金	2,967
その他	6,896
営業外収益合計	11,567
営業外費用	
支払利息	9,993
持分法による投資損失	66,485
その他	4,035
営業外費用合計	80,513
経常損失(△)	△485,691
特別利益	
投資有価証券売却益	1,691
保険解約返戻金	3,472
持分変動利益	7,616
貸倒引当金戻入額	6,043
特別利益合計	18,825
特別損失	
投資有価証券評価損	136,087
特別損失合計	136,087
税金等調整前四半期純損失(△)	△602,953
法人税、住民税及び事業税	6,252
法人税等調整額	159,145
法人税等合計	165,397
四半期純損失(△)	△768,351

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(自 平成20年10月1日
至 平成20年12月31日)

売上高	885,531
売上原価	690,605
売上総利益	194,925
販売費及び一般管理費	432,727
営業損失(△)	△237,801
営業外収益	
受取利息	103
受取配当金	1,047
その他	880
営業外収益合計	2,032
営業外費用	
支払利息	4,069
持分法による投資損失	16,258
その他	2,479
営業外費用合計	22,808
経常損失(△)	△258,577
特別利益	
貸倒引当金戻入額	643
特別利益合計	643
特別損失	
投資有価証券評価損	131,839
特別損失合計	131,839
税金等調整前四半期純損失(△)	△389,773
法人税、住民税及び事業税	476
法人税等調整額	153,088
法人税等合計	153,565
四半期純損失(△)	△543,338

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△602,953
減価償却費	40,479
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,855
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,600
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	60,802
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△27,000
受取利息及び受取配当金	△4,670
支払利息	9,993
投資有価証券評価損益 (△は益)	136,087
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,691
新株予約権の増減額 (△は減少)	31,482
持分法による投資損益 (△は益)	66,485
持分変動損益 (△は益)	△7,616
売上債権の増減額 (△は増加)	491,087
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△89,962
未収消費税等の増減額 (△は増加)	12,399
その他の資産の増減額 (△は増加)	△45,037
仕入債務の増減額 (△は減少)	△573,914
未払金の増減額 (△は減少)	41,453
預り金の増減額 (△は減少)	31,502
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△45,912
その他の負債の増減額 (△は減少)	△7,776
小計	△480,509
利息及び配当金の受取額	4,670
利息の支払額	△10,899
法人税等の支払額	△157,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	△644,738
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△354,968
投資有価証券の売却による収入	110,314
有形固定資産の取得による支出	△7,903
無形固定資産の取得による支出	△49,220
貸付金の回収による収入	1,601
関係会社出資金の払込による支出	△47,385
投資活動によるキャッシュ・フロー	△347,561

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	137,500
リース債務の返済による支出	△6,271
長期借入れによる収入	300,000
社債の償還による支出	△118,000
自己株式の取得による支出	△299
配当金の支払額	△101,129
財務活動によるキャッシュ・フロー	211,799
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△780,500
現金及び現金同等物の期首残高	1,899,967
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,119,467